

令和8年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立森之宮小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校の児童は明るく素直で仲間を大切にすることが、基本的な生活習慣の確立が十分でない子もおり、教師が寄り添うとともに、家庭での生活リズムを整えられるよう支援していく必要がある。学習規律や環境は整っており、学力も全国平均を上回るが、学習の定着に課題がある児童も見られる。今後は、児童同士が意見を出し合い、考えを深める協働学習をさらに充実させ、新たな気づきや発想につながる学びの機会を増やすことが必要である。

学校は「子どもの思いに寄り添い、個を生かす教育」を方針とし、協働学習を取り入れながら「自ら学ぶ子ども」の育成に取り組んでいるところである。

**中期目標**

**【安全・安心な教育の推進】**

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7 77%)

○小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7 該当質問紙なし)

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7 該当質問紙なし)

○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7 65%)

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(R7 84.9%)

**【学びを支える教育環境の充実】**

○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

(R7 該当質問紙なし)

○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月18時間以下とする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7 該当質問紙なし)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R7 該当質問紙なし)
- 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R7 65%)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。  
(R7 該当質問紙なし)
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月19.5時間以下とする。(R7 20時間)

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立森之宮小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

令和8年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>(R7 該当質問紙なし)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめを許さない学級・学校づくりを目指して、「いじめについて考える日」やアンケート等を活用し、実態把握といじめを許さない集団づくりに努める。</p> <hr/> <p>指標 「いじめについて考える日」を軸に年1回以上の校長講話で「いじめ防止」への意識を深める機会をつくとともに、児童が主体的に取り組む「なかま集会」を年2回実施し、互いを大切にする心を育てる。</p>	
<p>取組内容②【2 豊かな心の育成】</p> <p>互いに認め合う集団づくりをめざし、異学年交流も活発に行い、助け合い高め合う活動を工夫・充実させることで、児童の自尊感情を育てる。</p> <hr/> <p>指標 児童アンケートの設問③「自分にはよいところがある」の結果から、最も肯定的な回答をする児童の割合を70%以上にする。(R7 65%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立森之宮小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

令和8年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R7 該当質問紙なし)</p> <p>○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R7 65%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>本校の児童の実態をつかみ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、自分たちで立てた課題の解決に向けて、協働学習を通して学びを深める。</p> <hr/> <p>指標 児童アンケート設問②「話し合い活動の場では、友達や先生の意見を聞くことで、自分なりの考えを持つことができる」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を55%以上にする。(R7 53%)</p>	
<p>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>ゲーム・歌・ペア活動・発表など多様な活動を取り入れ、児童が英語（外国語）を使う楽しさを実感できたり積極的にコミュニケーションを図ろうとしたりする授業づくりをめざす。</p> <hr/> <p>指標 児童アンケート設問④「英語（外国語）の楽しく取り組んでいる」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を前年度以上にする。(R7 61%)</p>	
<p>取組内容③【5 健やかな体の育成】</p> <p>児童の困り感に目を向け、体育科等において、体幹や体の感覚を意識した体づくりを行い、運動好きになる児童の育成に努める。</p> <hr/> <p>指標 児童アンケート設問⑨「休み時間に運動場で体を動かしたり、放課後や休みの日に運動したりしている」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を前年度以上にする。(R7 85%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立森之宮小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

令和8年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7 該当質問紙なし)</p> <p>○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月19.5時間以下とする。(R7 20時間)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育DXの推進】</p> <p>学習者用端末を活用して一人ひとりの課題の設定や簡単な振り返り活動、個別の支援を工夫し、児童が「自分に合った学びができた」と実感できるようにする。</p> <hr/> <p>指標 児童アンケート設問⑤「タブレットの基本的な使い方に慣れ、親しむことができる」に対して最も肯定的な回答をする児童の割合を前年度以上にする。 (R7 81%)</p>	
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>これまでの学校運営を総括して働き方改革を推進し、Work-Lifeバランスを重視した組織づくりを推進する。</p> <hr/> <p>指標 働き方改革を推進し、ゆとりの日を週に1回設定・実施する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	